

はじめに



人々が家族や自らのために「健康」を願う心は、どんな時代になったとしても変わることがないのではないのでしょうか。この「健康」への願いをかなえるところが、市民に最も身近な基礎自治体の役割であると捉えています。

このような考えから、大和市は、平成20年9月1日、WHO（世界保健機関）西太平洋地域で健康都市を推進する都市間ネットワークとして発足した「健康都市連合」に加盟しました。さらに、翌年2月1日の市制50周年の節目には「健康都市 やまと」宣言を行い「人」「まち」「社会」の3つの健康の向上を目指す姿勢を表明いたしました。また、「総合計画」においても、全ての世代の方々が健やかで康らかな生活を実感できる「健康都市」の実現を目指す将来都市像を掲げ、市政運営に取り組んでおります。

健康都市の実現を目指し、取り組みを進める中で、少子高齢化・人口減少の進行や激甚化する自然災害の発生、DXの推進など、我々の生活環境を変化させる様々な出来事がありました。特に、令和元年12月に発生が確認された新型コロナウイルスは、世界中で感染拡大し、人々の生活を一変させました。

しかしながら、令和5年5月8日から、感染症上の分類が、季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げることが決定されるなど変化が見られるようになり、コロナウイルスが社会に存在していることを前提とした上で、市民の皆様の健康と命を守ることを最優先に、真に必要な施策は何であるかを見極めながら、対応していく必要があります。

健康都市プログラムは、総合計画の中から市民の健康を増進するための重要施策を抽出し、まとめた行動計画です。ここに掲げた施策を一つひとつ着実に実行していくと同時に時代の変化にスピード感を持って柔軟に対応して継続的に見直し、充実することで、市民の皆さまの健康増進と健康寿命の延伸、そして健康都市の実現に向けて着実に施策を推進してまいります。

令和5年3月

大和市長 大木 哲

目 次

「健康都市やまと」と健康都市プログラム	3
1. 「健康都市やまと」のあゆみ	
2. 「人」の健康、「まち」の健康、「社会」の健康	
3. 健康都市プログラム	
4. 5つのリーディングプロジェクト	
5. 健康都市プログラムの改訂	
6. 健康都市プログラムと市民の取り組み	
各種データから見た大和市民の健康	7
1. 人口構造と高齢化率	
2. 平均寿命と健康寿命	
3. 死因別死亡数	
4. 医療費	
5. 要介護・要支援認定率と介護費用額	
リーディングプロジェクト	13
1. 身体を動かそうプロジェクト	15
【事例紹介】歩く健康づくり事業	
【市民の取り組み】「大和市地区体育振興会連絡協議会」の活動	
2. 楽しく食べようプロジェクト	23
【事例紹介】やまと食の応援団	
【市民の取り組み】「大和市食生活改善推進員」の活動	
3. 地域とつながろうプロジェクト	32
【事例紹介】健康都市大学事業	
【市民の取り組み】「大和市健康普及員」の活動	
4. 命を守ろうプロジェクト	44
【事例紹介】妊産婦・新生児等訪問事業	
【市民の取り組み】自主防災組織による防災活動について	
5. ゆとりを感じようプロジェクト	54
【事例紹介】芸術文化ホール管理運営事業	
【市民の取り組み】「しらかしのいえボランティア協議会」の活動紹介	
資料集	63
健康都市連合憲章	
ヘルスプロモーションに関する上海宣言	
「健康都市に関する上海市長コンセンサス 2016」(大和市訳)	
大和市健康都市推進市民会議設置要綱	
健康都市推進庁内検討会議設置要領	